

スポーツ振興
～スポーツアイランドの確立～

1 基本方針

(1) 基本的な考え方

今日、社会環境は高度情報化社会の到来により人々の生活に利便性をもたらしている反面、日常生活においては、体を動かす機会の減少により体力や運動能力の低下、人間関係の希薄化、ストレスの増大など、心身両面に渡る健康上の諸問題が顕著化してきている。

このような中、人々が健康で明るく豊かな生活を形成するために、スポーツの果たす役割は重要であり、宮古島市においても国や県、スポーツ団体と連携・協働することにより新しい時代にふさわしいスポーツの振興を図ることとする。

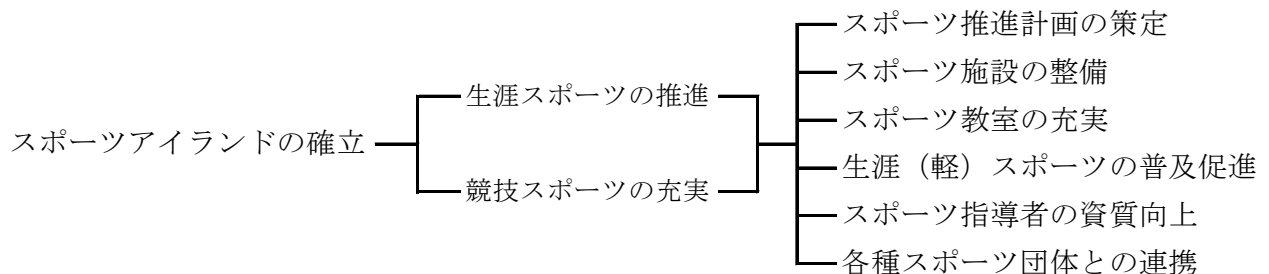
(2) 現状と課題

近年、自由時間の増大や少子高齢化の進展、ライフスタイルの変化の中で、健康に対する意識や生活習慣病への関心が高まりを見せており、体力の向上や健康の保持増進、仲間づくりのためにも市民の誰もが気軽にスポーツに親しむ環境を整備していくことは重要なことである。

このような中、宮古島市において、生涯スポーツや競技スポーツの拡大を図っていくためにもスポーツ施設の充実と有効活用、指導者の育成強化、サークル活動の育成など、多くの市民がスポーツを楽しめるとともに地域のスポーツ振興がより一層展開されるよう取り組んでいかなければならない。

2 社会体育における重点施策

(1) 施策の体系



(2) 施策の内容

- ①宮古島市におけるスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するスポーツ推進計画を策定する。
- ②各種キャンプの誘致ができる施設整備の充実と既存施設の整備促進を図る。
- ③市民の体力の向上と健康の保持増進のためスポーツ教室の充実を図る。
- ④子供から高齢者まで楽しむことができる生涯（軽）スポーツを促進する。
- ⑤各競技の指導者育成の充実とその活用を図る。
- ⑥民間活力を活かしたスポーツ振興を図る観点から、体育施設の指定管理者制度を検討していく。

(3) 重点事業の内容と目標

①スポーツ推進計画の策定

市民アンケート調査や関係機関にヒアリング調査を行い、策定委員会を設置し計画を策定する。

②スポーツ施設の維持管理

ア 市民球場の整備（グラウンド環境の整備、芝生の改善、防球ネットの設置）

イ 多目的屋内運動場の整備（雨漏り修繕）

ウ 既存施設の環境整備作業及び修繕

③各種スポーツ教室の充実

各種スポーツ教室を実施し、体力づくりと健康の保持増進に努める

④各種イベントの実施とキャンプの誘致

ア スポーツマネジメントプランに基づきスポーツトレーニングに親しめる環境の整備

イ スポーツイベントの誘致活動やイベントの開催

⑤体育施設の指定管理

各施設の特性に応じた指定管理者制度の計画的な導入を検討する。

3 平成26年度事業計画

月	事業内容	対 象	場 所	協 力
4月	宮古島市スポーツ推進委員委嘱状交付式 及び第1回スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員	陸上競技場会議室	
5月	ファミリーバドミントン教室（城辺地区）	一般市民	城辺トレーニングセンター	スポーツ推進委員
6月	第2回スポーツ推進委員協議会 ファミリーバドミントン教室（下地地区）	スポーツ推進委員 一般市民	陸上競技場会議室 下地体育館	
7月	ファミリーバドミントン教室（上野地区） 沖縄県中体連バドミントン競技会	一般市民 県内中学生	上野体育館 総合体育館	
8月	スポーツ推進審議会委員委嘱状交付式及 び第1回スポーツ推進審議会 第3回スポーツ推進委員協議会 ファミリーバドミントン教室（平良地区）	スポーツ推進審議会委員 スポーツ推進委員 一般市民	陸上競技場会議室 陸上競技場会議室 総合体育館	
9月	スポーツマネジメントプラン関連事業	一般市民		
10月	体育の日関連事業 第4回スポーツ推進委員協議会 沖縄県高体連バスケットボール大会	一般市民 スポーツ推進委員 県内高校生	各体育施設 陸上競技場会議室 総合体育館他	
11月	第2回スポーツ推進審議会 軽スポーツ教室（生涯学習フェスティバル）	スポーツ推進審議会委員 一般市民	陸上競技場会議室 中央公民館	スポーツ推進委員
12月	第5回スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員	陸上競技場会議室	
1月	プロスポーツキャンプ 関係（陸上・駅伝等） プロ野球キャンプ 受入整備事業	各関係団体 オリックス球団	各体育施設 市民球場他	

月	事業内容	対 象	場 所	協 力
2月	オリックスバファローズ 春季キャンプ 実業団・大学キャンプ 第3回スポーツ推進審議会 第6回スポーツ推進委員協議会	オリックス球団 実業団・大学 スポーツ推進審議会委員 スポーツ推進委員	市民球場・屋内運動場・サブグラウンド 市民球場・下地球場・城辺球場 陸上競技場会議室 陸上競技場会議室	
3月	実業団・大学キャンプ	実業団・大学	市民球場・下地球場・城辺球場	

4 附属機関等

(1) スポーツ推進審議会委員

①審議会の設置

スポーツ基本法第31条「都道府県及び市町村に、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関を置くことができる。」に基づき、本市においても、スポーツ推進審議会条例により設置している。

②委員定数・任期

審議会の委員定数は5人で教育委員会が委嘱し任期は2年となっている。

(2) スポーツ推進委員

①委員定数・任期

推進委員の定数は20人で教育長が委嘱し任期は2年となっている。

②推進委員の職務

ア 住民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行う。

イ 住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図る。

ウ 学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツの行事又は事業に関し協力する。

エ スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事に関し、求めに応じ協力する。

オ 住民一般に対しスポーツについての理解を深める。

カ 住民のスポーツ振興のための指導助言を行う。

5 平成25年度 事業実績

月	教室及び大会講習会	対 象	場 所	協 力
5月	沖縄県高体連サッカー競技大会	県内高校生	陸上競技場他	
6月	第1回スポーツ推進委員協議会 筋力トレーニング教室（第1回～第3回）	スポーツ推進委員 一般市民	総合体育館 陸上競技場	
7月	第2回スポーツ推進委員協議会 筋力トレーニング教室（第4回）	スポーツ推進委員 一般市民	総合体育館 陸上競技場	
8月	ニュースポーツ体験教室（ファミリーバドミントン） 第51回沖縄県スポーツ推進委員研究大会	小学生以上 スポーツ推進委員	総合体育館 嘉手納町	スポーツ推進委員
9月	ニュースポーツ体験教室（ファミリーバドミントン） 第1回スポーツ推進審議会	小学生以上 審議会委員	総合体育館 陸上競技場	スポーツ推進委員

月	教室及び大会講習会	対 象	場 所	協 力
10月	スポーツ教室（レディースフットサル 全4回） 体育の日記念行事 施設無料開放	一般市民（女性） 一般市民	前福屋内運動場 全施設	宮古フットサル連盟
11月	第3回スポーツ推進委員研修会 生涯学習フェスティバル（軽スポーツ担当） 第1回スポーツマネジメントプラン検討委員会	スポーツ推進委員 一般市民 検討委員	陸上競技場 中央公民館 陸上競技場	スポーツ推進委員
12月	沖縄県スポーツ推進委員研修会 第4回スポーツ推進委員協議会 本田圭佑自主トレ・サッカー教室	スポーツ推進委員 スポーツ推進委員 小学生	八重瀬町 陸上競技場 前福運動場	
1月	なでしこ代表選手自主トレ・サッカー教室 体幹・メンタルトレーニング教室 第2回スポーツ推進審議会 第5回スポーツ推進委員協議会 第2回スポーツマネジメントプラン検討委員会	小・中・高（女子） 一般市民 審議会員 スポーツ推進委員 検討委員	前福運動場 総合体育館 陸上競技場 陸上競技場 平良庁舎6F会議室	宮古サッカー協会 宮古体育協会
2月	オリックスバファローズ 春季キャンプ 実業団野球・大学野球・高校野球キャンプ 第3回スポーツマネジメントプラン検討委員会	オリックス球団 実業団・大学・高校 検討委員	市民球場・屋内運動場・サブグラウンド 市民球場・下地球場・城辺球場 陸上競技場	オリックス協力会
3月	大学野球・高校野球キャンプ 体育施設年間行事調整会議 第3回スポーツ推進審議会 卓球教室 第6回スポーツ推進委員協議会 バドミントン教室	大学・高校 各競技団体 審議会員 小・中・高 スポーツ推進委員 中学生	市民球場・下地球場・城辺球場 陸上競技場 総合体育館 総合体育館 陸上競技場 総合体育館	宮古卓球連盟 宮古バドミントン協会

6 体育施設の概要

施 設 名	総面積（㎡）	競技面積（㎡）	施 設 の 概 要
宮古島市陸上競技場	31,665.00	19,239.00	第三種公認 夜間照明（付帯施設、マラソンコース）
宮古島市総合体育館	10,795.71	4,100.00	バレーボール（3面） バスケットボール（2面） バドミントン（8面） ハンドボール（2面） 小体育室（80㎡） 小トレーニング室（80㎡） 会議室（30．25㎡） その他
宮古島市民球場	23,180.00	19,713.00	硬式、軟式、管理棟、その他
多目的屋内運動場	23,114.00	11,300.00	小運動場（3,600㎡） ブルペン（560㎡） 運動広場（7,140㎡）
城辺陸上競技場	22,000.00	16,944.00	400mトラック 夜間照明

施 設 名	総面積 (㎡)	競技面積 (㎡)	施 設 の 概 要
城辺トレーニングセンター	1,579.00	1,300.00	バレーコート(2面) バスケットコート(1面) バトミントン(4面)
上野陸上競技場	38,599.00	19,420.00	400mトラック 夜間照明(安全灯)
上野体育館	3,333.00	1,554.00	バレーボール(2面) バスケットボール(2面) テニス(2面) ハンドボール(1面) バトミントン(4面)
下地陸上競技場	21,607.00		400mトラック 夜間照明
下地体育館	1,629.00	996.04	バレーボール(2面) バスケットボール(2面) テニス(1面) バトミントン(4面) ウエイトトレーニング室(36㎡)
佐良浜スポーツセンター	10,628.00	270.00	野外プール25m×6コース 幼児用プール 野外運動場
伊良部勤労者体育センター	10,628.00		野球場
カマム嶺公園テニスコート	5,828.29		テニスコート
宮古島市営球場	14,578.47	13,848	軟式野球場

文 化 振 興

～文化の振興と文化財の保存・保護並びに活用の推進～

1 節 文化財・文化振興

1 主要施策

本市は、亜熱帯・海洋性気候と島しょ性特有の豊かな自然環境に恵まれ、特色ある郷土文化及び地域の貴重な伝承、伝統文化を受け継いでいる。

よって、市民一人一人が地域の自然、歴史、文化を大切にする心を育み、市民が等しく地域（郷土）文化に触れ、文化財に対する理解や関心を深めるとともに、文化財の保護と活用を図りながら、新たな地域文化の振興に努める。

また、心身の成長期にある児童・生徒に優れた芸術を鑑賞する機会を提供し、豊かな創造性と情操の育成を図るため、芸術文化活動を推進する。

さらに、市民文化の向上と創造・発展を図るために、文化振興関係団体の育成に努める。

2 平成26年度重点施策

（1）文化庁及び県、その他助成事業の活用

できるだけ多くの助成事業を活用し、地域文化の保存・伝承に努めるとともに、優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。

また、若い世代の芸術文化の創造・発展及び幅広い芸術的視野の形成を進め、文化協会・文化振興友の会など、関係団体等と協力・連携し、地域文化の振興と各種文化事業の活性化を図る。

（2）市単独事業

事業名	概要
宮古島市民総合文化祭 『児童・生徒の部』	創造する市民の文化をテーマに、これまで培ってきた芸能や技術の向上を図ると共に発表の機会を設け、多くの市民が参加し芸術文化に対する理解と認識を深めることを目的とする。
宮古島市民総合文化祭 『一般の部』	
芸術文化関連事業(その他)	郷土の文化に目を向け、親しむことを目的とする。

3 施策項目

（1）文化財の保護・活用

- ①埋蔵文化財の発掘調査・出土資料整理
- ②宮古島市neo歴史文化ロード整備事業の推進
- ③文化財保護と調査・研究及び環境整備の推進
- ④宮古島市史の編さん
- ⑤歴史考古資料の活用
- ⑥文化財の学校教育への普及
- ⑦各文化財管理団体等との連携

（2）文化の振興

- ①地域文化の振興
- ②文化振興関係団体との協力・支援体制
- ③舞台芸術、各種文化事業の推進
- ④子どもの文化体験活動の推進
- ⑤芸術鑑賞の推進

4 平成26年度 事業計画

(1) 文化財の保護・活用事業

- ①市内遺跡発掘調査事業
- ②市埋蔵文化財公開活用事業
- ③国指定名勝及び天然記念物「八重干瀬」保存管理計画策定事業
- ④国指定重要文化財「あとしま墓」及び「知利真良豊見親の墓」保存修理事業
- ⑤宮古島市neo歴史文化ロード整備事業
- ⑥文化財保護審議会の開催
- ⑦宮古上布伝承者養成事業

(2) 市史編さん事業

- ①宮古島市史「祭祀編」「自然編」の編さん
- ②宮古島市史資料の発行

(3) 文化振興事業

- ①文化庁助成事業
 - ア 子どものための優れた舞台芸術体験事業(巡回公演・派遣事業分)
 - イ 伝統文化子ども教室事業
- ②市単独事業
 - ア 宮古島市民総合文化祭「児童・生徒の部」
 - イ 宮古島市民総合文化祭「一般の部」
 - ウ 各種助成金活用事業
- ③その他(芸術文化鑑賞事業)
 - 郷土に関する芸術文化関連事業

5 施策の推進体制

(1) 文化財保護審議会

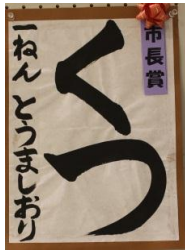
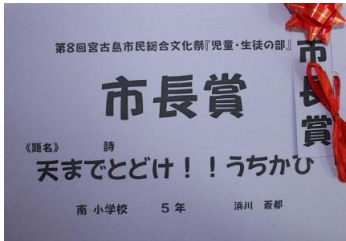
- ①文化財保護審議会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して建議する。
- ②文化財保護審議会は、次の専門4部会で構成されている。
 - 第1部会 有形文化財に関する事項
 - 第2部会 無形文化財に関する事項
 - 第3部会 民俗文化財に関する事項
 - 第4部会 史跡・名勝・天然記念物に関する事項

(2) 宮古島市史編さん委員会

- ①市史編集に関する基本的大綱に関する事項
- ②市史編集に関する調査及び資料収集に関する事項
- ③その他市史編集に関する必要な事項

6 平成25年度 文化事業の実績

事業名	実施時期	内容
宮古島市民総合文化祭 『児童・生徒の部』	11月 2日 11月 10日 12月 1日	〈発表部門〉 音楽祭 郷土の民話大会 表彰式

事業名	実施時期	内 容
宮古島市民総合文化祭 『児童・生徒の部』		  【音楽祭】 【郷土の民話大会】
	10月19日 ・20日	〈展示部門〉 書道展・美術展・文芸展・自由研究展   【書道展】 【文芸展】   【美術展】 【自由研究展】
宮古島市民総合文化祭 『一般の部』 (宮古島市文化協会へ運営委託)	10月27日 ・28日	〈展示部門〉 盆栽・園芸・茶道・宮古織物・木工 美術・生活文化・文芸・写真・華道 書道 〈表彰部門〉 盆栽・園芸
	11月10日	〈郷土史部門〉 宮古のアイデンティティを求めて（シンポジウム）
	8月 7日 11月25日 12月 1日 12月8日	〈発表部門〉 芸術劇場 音楽祭 子どもシアター 芸能祭

2 節 総合博物館

所在地：〒906-0011 宮古島市平良字東仲宗根添 1 1 6 6 - 2 8 7

電 話：7 3 - 0 5 6 7 F A X：7 3 - 0 8 2 2

敷地面積：10,000㎡／建物面積：2,020㎡／展示面積：620㎡（常設展示及び特別企画展）

1 基本方針

宮古の歴史、民俗、自然科学、美術・工芸の4部門からなる総合博物館であり、博物館に足を運べば宮古全域の自然と風土、歴史と文化にふれることができるような博物館づくりを目指している。

宮古圏域住民の文化活動・文化振興の拠点として、さらに島外から訪れる観光客や研究者へ宮古島を紹介するとともに、宮古にかかわる史資料の収集・保存・調査研究の成果を地域の人々に公開する場として、地域に根ざした様々な活用を図る。

2 常設展示

（1）第一展示室

①歴史部門

宮古が史書に登場するのは比較的新しく、14世紀になってからのことである。以後、争乱時代・豊見親時代・人頭税制時代・廃藩置県・旧慣改正期・第二次世界大戦と、宮古の人々は様々な経験を経てきた。考古・歴史部門では、宮古に人々が住み着いた時代から第二次世界大戦までの歴史の流れを編年体で紹介している。

・渡来人と遺跡	・世替わり前の事件と災害
・婆羅公管下密牙古人	・台湾遭害事件
・按司時代と目黒盛豊見親	・ロベルトソン号救助
・与那覇勢頭豊見親	・下地仁屋利社殺害(サンシー)事件
・朝鮮人漂流民の見た宮古	・学校創設
・仲宗根豊見親	・人頭税廃止運動と土地整理
・人頭税制下の宮古	・日露戦争と宮古
・西洋人の見た宮古	・太平洋戦争と宮古

②民俗部門

沖縄の復帰後、宮古の人々の生活も大きく変化してきた。しかし、昔から引き継がれてきた伝統芸能や民俗行事などは、今もなお各地に継承されている。民俗部門では、明治から昭和初期のカヤヤー(茅葺き家)を復元して当時の住居生活を紹介するとともに、民具やレプリカ、ジオラマ展示を用いて農耕・漁業・信仰・各地の主な民俗行事などを紹介している。

・衣 食 住	・水と生活	・漁 業
・農 耕	・民俗行事、信仰	

（2）第二展示室

①自然科学部門

宮古諸島の原形はおよそ1万年前にできたといわれ、島全体が琉球石灰岩で覆われている。自然科学部門では、宮古諸島の生い立ちを始め動物・植物・昆虫・天体・海洋・気象のコーナーを設け実物資料、テクノメーション、ジオラマ展示を用いて、宮

古の豊かな自然を紹介している。特に「大野山林の鳥・ジオラマ」「四季の星座・プラネタリウム」等は親子そろって楽しめるものである。

○宮古諸島の自然

気候、水の循環、地下水盆、地下ダム

○宮古諸島の生い立ち

島尻海岸の断層崖、陸橋の形成、不整合、石灰岩

○宮古で発見された化石

ミヤコノロジカ（レプリカ）、ミヤコノロジカの化石密集岩

ハシナガソデガイの化石、シマジリクジラの化石、サメの歯化石

ゾウの化石

○宮古諸島の鳥類

大野山林の鳥、池間湿原の鳥類、サシバの渡り、アカハラダカの渡り

○宮古諸島の植物、昆虫

○宮古諸島のほ乳類、は虫類、両生類

○宮古島の海水に生息するエビ、カニ類

○潮間帯（磯）の小動物たち

○博物館収蔵資料目録「自然資料編」、「歴史資料編」

②美術・工芸部門

他地域と異なる歴史と風土の中で育まれた宮古の文化は、特色ある織物や焼き物等の美術工芸品を生み出してきた。美術工芸部門では、宮古島市指定文化財となっている「旧家所蔵品」を中心に宮古の人々が創作や使用、あるいは鑑賞してきた芸術性の高い美術工芸品を紹介している。

・扁 額 聯	・宮古上布製作工程	・焼 物
・書(掛軸)	・絵(掛軸)	・焼物変遷コーナー
・工 芸 品	・絵 画	・織 物

3 沖縄振興特別推進交付金事業を活用した取り組み

総合博物館では宮古島市の歴史・文化・自然等を映像コンテンツとして、デジタル化し来館者に最新の情報をわかりやすく説明するため、タッチパネル式音声案内テレビを導入。

(1) 第一展示室

島尻のパーントゥのレプリカの前にタッチパネル式のテレビを設置し、野原のパーントゥの映像を追加した。御嶽コーナーでは、場所の確認がボタン式のランプ点灯のみであったが、宮古島市史年表の下に写真を設置することにより、御嶽の状況がよりわかりやすくなった。

(2) 第二展示室

第2展示室は、宮古の自然と風土を展示していたが、児童生徒の教育普及を図るために既存の音声案内機器を撤去し、最新の映像・音声を充実させた。

また、展示パネルの数を減らすなどスリム化し「台風について」と「地球温暖化について」のコーナーにも、同じタッチパネル式テレビを設置した。特に台風のコーナーでは、平成15年に宮古島を襲った台風14号の映像を取り入れており、地元の来館者に人気がある。

地下水コーナーにおいても、説明ボックス3台を撤去し、宮古島の地下水の様子がわかる

ようにジオラマを制作、農業と地下ダムの関係や様子を最新の映像で見ることができる。

宮古上布・針突コーナーでもタッチパネル式のテレビを設置し、文字と映像で内容をわかりやすくし、コンパクトに仕上げ車いすの方や子どもたちにも見えやすく工夫した。

(3) ものしり博物館

博物館一押しのコーナーである「ものしり博物館」は、入り口の左側に設置している。

メインは、画面で見る写真と動画コンテンツで、宮古島の史跡や遺跡などを数多く紹介し、中央の大型テレビにて宮古島の民族芸能、国指定、旧石器時代の遺跡、先史時代の遺跡、戦争遺跡、自然など85点の映像を見ることができる。バックパネルには、東平安名崎と赤瓦屋根、石積みを描き宮古島の雰囲気表現している。

(4) その他

調査研究や資料収集・展示・保存・教育の普及の基礎となる収蔵資料等の整理と目録作成は、「歴史、民俗、自然科学、美術工芸」の4部門を掲げる博物館の最大の課題とされてきた。「旧家資料編」第一集の目録はすでに作成しているが、自然、歴史、民俗、美術工芸の目録等の作成は年次計画を立てながら、平成24年度に「自然資料編」、平成25年度に「歴史編」の目録を完成させた。

これらを目録化することにより今後、研究活動や学習の場などで活用されるなど、新たな価値として生まれることを期待している。また、平成26年度も引き続き「民族編」の目録等の作成を計画しており、宮古島の貴重な財産として益々活用されれば幸いである。

4 平成26年度 事業計画

(1) 企画展

博物館活動として宮古関連および市民文化の高揚に寄する内容を計画し、企画展及び特別展として開催している。

回 数	事 業 内 容	期 間
第27回	「宮古島むしむし展」 宮古諸島で確認されている昆虫類を紹介する。宮古の子どもたちに、宮古の自然に対する理解を深め、これに併せて外来種についても紹介する。 【関連行事】 ○講演会「外来種について」 環境省那覇自然環境事務所	平成26年 7月25日(金)～ 8月26日(火)
第28回	「クバ展」 クバは、古くから御嶽や祭祀の場で使用されてきた。また、水をはじくという性質から、クバガサやクバズーなど民具としても様々な用途に使われており、企画ではクバを民族・歴史・自然・美術の視点からみてクバについての理解を深める。 【関連行事】 ○講座「クバを使った道具づくり」	平成27年 2月20日(金)～ 3月20日(金)
		3月7日(土)

(2) 子ども博物館

博物館の教育普及活動の一環として、歴史・文化と自然・環境等に関する体験学習を行うことで郷土に対する認識を深める。募集は市内の小学校4～6年生が対象で、年6回の体験学習を行い定員は30人とする。

回 数	内 容	期 日	場 所	講 師
第1回	「開講式・博物館見学・昔の遊び・イモ植え」 博物館の見学をとおして、博物館について興味・関心を深める。昔の遊びとイモ植えを体験し郷土の文化を学ぶ。	5月11日(日)	博物館内外	寺崎香織
第2回	「史跡巡り」 市内の史跡をまわり、宮古の歴史に対して理解を深める。	6月29日(日)	宮古島市内	新城宗史
第3回	「文化財巡り・文化財を描いてみよう」 市内の文化財を巡り、文化財に対して理解を深める。	8月16/17日 (土・日)	宮古島市内	西里恵子
第4回	「イモ料理・昔のおはなし」 第1回講座で植えたイモを収穫し、昔のイモ料理を再現することで、郷土の食文化に対する理解を深める。	9月28日(日)	博物館内外	津嘉山千代
第5回	「野草の観察会と野草料理」 大野山林の食用食物を知るとともに、実際に採集した野草を調理することで郷土の自然と文化に対する理解を深める。	11月2日(日)	博 物 館	川上 勲
第6回	「宮古の水を考える 地下ダムを見学してみよう」 地下ダム資料館の見学をとおして、宮古の地下水について学び考える。	2月1日(日)	地下ダム資料館 ファームボンド	地下ダム資料館 職員、宮古地区 土地改良区職員

(3) 特別展示展

回数	内 容	期 間
第1回	伊良部島・下地島の生きもの展 趣旨：2015年の伊良部架橋開通に伴い、「伊良部島・下地島生物多様性プロジェクト2012～2013」の調査報告をパネルや写真、標本などを展示して紹介する。 【関連行事】 子ども向けワークショップ「海草でアートしよう！」 日時：平成26年5月17日(土) 9:00～12:00 講演会「伊良部島・下地島の生きもの」 日時：平成26年5月17日(土) 14:00～16:00 講師：藤田喜久(NPO法人海の自然史研究所・琉球大学教育センター)	5月2日(金)～ 5月27日(火)

回数	内 容	期 間
第2回	慰霊の日関連特別展示「戦争とは何か～モノから考える～」 趣旨：慰霊の日に合わせ、おもに当博物館の資料を展示する。展示をとおして過去の戦争の状況や、戦時中の宮古での生活を振り返り考える機会とする。また、小学校高学年から中学生程度を対象に何点かの資料をQ&A方式で紹介する。 【関連行事】 戦跡巡り 日時：平成26年6月14日（土） 13:00～16:00 協力：宮古南静園入居者自治会、ハンセン病と人権市民ネットワーク宮古	6月6日（金）～ 6月27日（金）

（４）移動展

回数	内 容	期 間
第1回	「伊良部島・下地島の生きもの展」 伊良部島と下地島で行った「生物多様性調査プロジェクト2012～2013」の結果報告を写真パネルで展示紹介する。 場所：マリンターミナル(平良港)・サンマリンターミナル(佐良浜港)	6月13日（金）～ 6月30日（月）

（５）博物館講座

回数	内 容	期 間
第9回	「地下水保全と農業」 宮古島の地下水がもたらした農業形態の移り変わりや問題を考えながら地下水の保全について学ぶ。	10月11日（土）
第10回	「夜の海の観察会」 夜の海に活動する生きものたちを観察し自然について学ぶ。	12月5日（日）

5 施策の推進体制

宮古島市総合博物館協議会委員

○博物館協議会委員の職務(総合博物館協議会規則第2条)

協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。

6 平成25年度 事業実績

（１）企画展

回数	内 容	期 間(備考)
第24回	「野鳥展～知ってほしい宮古の宝～」 5月10日～16日の愛鳥週間に併せて、宮古の鳥についての写真やパネル、剥製の展示を行い宮古の自然について理解を深めてもらう展示会となった。	平成25年 4月27日（土）～ 5月31日（金） 入館者1,471人

回数	内 容	期 間(備考)
	【関連行事】 研究発表「サシバの渡りについて」伊良部高校自然クラブ 講演会「宮古の鳥」 宮古野鳥の会 野鳥観察会（大野山林） 宮古野鳥の会 日 時：平成25年5月12日（日） 13:30～14:30 参加者：35人	
第25回	「宮古の織物展」 宮古の織物をテーマに国の重要無形文化財に指定されている宮古上布や、高機が導入される以前に使用された地機について説明し総合的な織物の展示会となった。 また、博物館収蔵の宮古上布だけでなく、個人の収蔵や宮古上布保持団体等によって復元された御絵図柄の宮古上布を展示することで宮古の織物についてあらためて認識を深めてもらう機会となった。 【関連行事】 講演会「地機の講演会・実演会」 日 時：平成25年8月11日（日） 14:00～16:00 講 師：仲間伸恵(琉球大学教育学部講師・ 宮古島市博物館協議会副会長) 参加者：45人	平成25年 7月27日(土)～ 9月1日(日) 入館者 1,976人
第26回	「宮古人のルーツを探るpart2 ～無土器時代の宮古～」 平成22年度に開催した、第16回企画展「宮古人のルーツを探るpart1 12世紀～16世紀の宮古」に続き今回は、宮古島の無土器時代に焦点をあてた展示内容となった。 この展示をとおして、宮古の歴史を学ぶとともに宮古の人たちのルーツを考えてもらう機会となった。 【関連行事】 シンポジウム「宮古・八重山諸島の無土器期」 日 時：平成26年3月1日(土) 13:00～17:00 講 師：江上幹子（沖縄国際大学講師） 久貝弥嗣（宮古島市教育委員会） 島袋綾野（石垣市教育委員会） 参加者：46人 史跡巡り 日 時：平成26年3月2日（日） 9:00～12:00 講 師：久貝弥嗣(宮古島市教育委員会) 参加者：30人	平成26年 2月13日(木)～ 3月16日(日) 入館者1,597人

(2) 特別展示展

回数	内 容	期間 (備考)
第1回	慰霊の日関連特別展示「戦争とこどもたち」 6月23日の慰霊の日にあわせ「戦争とこどもたち」をテーマに戦時中の学校や教育、疎開、強制動員など、子どもたちから見た戦争をパネルや写真資料とともに展示した。 展示をとおして、過去の戦争の状況と向き合い考える機会とする。 【関連行事】 「戦跡巡り」 日 時：平成25年6月22日(土) 9:00～12:00 講 師：砂川玄正 参加者：30人	平成25年 4月27日(土)～ 5月31日(金) 入館者：847人
第2回	文化の日関連特別展示「平成23・24年度収蔵品展」 平成23～24年度にかけて、当博物館に寄贈及び寄託された資料を広く市民の皆様に周知させることを目的とし、歴史、民俗、美術、工芸、自然の資料を紹介することで幅広い分野を学ぶ場とする。 また、当博物館に寄贈、寄託された皆様に謝意を表するとともに今後の資料収集活動への協力も呼びかける。	平成25年 10月23日(水)～ 11月8日(金) 入館者：588人
第3回	「金井喜久子展」 日本人女性で初めて、交響曲を書いたといわれる宮古島出身の作曲家「金井喜久子」をテーマに展示を行った。	平成25年 12月11日(水)～ 平成26年 1月12日(土) 入館者：772人

(3) 博物館講座

回数	内 容	期間 (備考)
第7回	「平成24・25年度発掘調査速報」及び 特別展示「平成24・25年度発掘調査速報展」 平成24・25年度に本市で行われた発掘調査を紹介し、市民の皆さんが新たな調査成果を学ぶ場を設け埋蔵文化（遺跡）への理解を深めることを目的として行われた。 【関連行事】 講演会「平成24・25年度発掘調査速報」 日 時：平成25年10月12日(土) 14:00～16:00 講 師：久貝弥嗣（市教育委員会生涯学習振興課文化財係） 参加者：25人	平成25年 10月3日(木)～ 10月13日(日) 入館者：258人

回数	内 容	期間（備考）
第8回	「苧麻紙漉き」 宮古上布の原料でもある苧麻、その苧麻の繊維から糸にならない部分を用いて苧麻による紙漉きを一般の方に体験し、苧麻について学んでもらう講座となった。 【関連行事】 「紙漉き体験」 平成26年3月9日（日） 13:00～16:30 講 師：仲間伸恵(琉球大学教育部講師・宮古島市博物館協議会副会長) 参加者：20人	平成25年 3月9日（日） 参加者：20人

（４）子ども博物館

（対象：小学校４・５・６年生）

回数	内 容	期間	講師	受講者（人）
第1回	開講式・草木を使ったおもちゃ作り	5月19日	砂川利枝	24
第2回	博物館探検～学芸員になってみよう～	7月28日	國仲香織	10
第3回	葉脈標本づくり	8月17日・18日	國仲香織	24
第4回	宮古の水を考える～地下ダム見学をしてみよう～	10月6日	地下ダム資料館職員 宮古土地改良区職員	中止(台風)
第5回	野草の観察会と野草料理	12月1日	川上勲	23
第6回	閉講式・天然記念物 宮古馬を学ぼう	平成26年2月23日	長濱幸男・荷川取牧場	15



第1回子ども博物館
草木を使ったおもちゃ作り



第1回特別展示展
「戦争と子どもたち」



第3回子ども博物館
葉脈標本づくり



第25回企画展
宮古の織物展

3 節 文化ホール

1 設置目的

住民の舞台芸術活動を推進し、住民文化の創造に寄与するとともに、住民生活の向上を図るため、宮古島市文化ホールを設置する。（宮古島市文化ホール条例第1条）

2 施設の概要

所在地：〒906-0013 宮古島市平良字下里108-12

電話：72-9622 FAX：73-4879

①延床面積	4,354.61㎡	892席	⑤舞台	間口	18m
②客席	固定席	747席		奥行	14m
	移動席	133席		高さ	8m
	（うち身体障害者椅子席	25席）		床面材質	桧集成材
	背たおれ席	12席		バトン	8本
	親子観覧室	8㎡×2室		反響板	有り
③楽屋	楽屋1（洋室	59.00㎡）		緞帳	速度調整可
	楽屋2（和室	71.05㎡）	⑥照明	調光設備	松村電機製作所
	楽屋3（個室	18.74㎡）	⑦音響	音響調光卓	TOA株式会社
④ホワイエ（ロビー）	347.91㎡				

3 施設の開館日及び開館時間

（1）開館日

火曜日から日曜日（ただし、祝日法による休日及び慰霊の日は除く）

（2）開館時間

午前9時から午後10時まで（催物のない場合は、午前9時から午後5時まで）

4 施策の体制

宮古島市文化ホール運営委員会

委員の職務（文化ホール運営委員会規則第2条）

- （1）宮古島市文化ホール（以下「文化ホール」という。）の運営基本計画に関すること。
- （2）文化ホールの自主事業に関すること。
- （3）文化ホールの利用普及に関すること。
- （4）その他教育長が必要と認めること。

5 自主文化事業

（1）事業の基本理念

宮古島市文化ホールは“音楽もできる劇場型多目的芸術ホール”という位置づけがされている。地域独自の風土の中で育まれた文化の育成と、住民が質の高い芸術文化活動を鑑賞または経験して、新たな文化と伝統文化の融合・発展を先導するための文化拠点とする。

（2）事業の内容

- ①鑑賞事業 住民に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。
- ②文化育成事業 住民の自主的な文化創造活動を支援する。
- ③文化交流事業 住民の芸術文化活動と他地域の芸術文化活動の交流促進を図る。

6 平成25年度 事業実績

	事業内容	期 間
1	「マティダ市民劇場ワークショップ ～舞台づくりのおもしろミニ講座～」 小・中・高校生が施設見学や音響・照明・舞台の機器操作等を実際に体験することで、劇場への理解を深めるとともに将来の進路、就職等を考える機会を提供することを目的として実施した。     	平成25年 7月27日(土) 28日(日)
2	「マティダライブ6」 音楽やダンスパフォーマンスなどに真剣に取り組んでいる高校生に、発表の機会を提供し、活動の支援を行った。この事業は、「共に創造する喜び・共に感じる連帯感と達成感」をキーワードに、学生の自主的な企画・運営により実施された。 【出演者】 ○高校生バンド 9組 ○高校生ダンスチーム 4組 合計58名 (ボランティアスタッフ40名)  	平成26年 2月23日(日)

	事業内容	期 間
3	「宮古島市こども劇団」 1 目 的 演劇を通して他者との関わりや、自己を客観視する力、社会性を理解する力など人格の形成を図る。また、内在している潜在能力を引き出せるよう支援していくことで、こどもたちの心の成長に役立て、加えてアイデンティティーの意識を高め、地域の文化力を発信することを目的とする。 2 目 標 一過性の演劇発表に留まることなく、演劇の真の魅力を理解しながら、劇団に関わる全ての人がコンセプトを自分のものにできるようにする。また、互いの目的意識を高めることで、自己実現を確かめ合いながら、世代を超えた感動空間を共有する。加えて、継続した劇団運営ができるよう自立した団体を目指す。 3 事業内容及び成果発表 平成26年1月26日（日） オリジナル創作劇「はしり星にのって」初回公演	平成26年 1月26日（日）

7 平成25年度利用状況

① 月間稼働率

	稼働可能日	稼働実日	稼働率(%)
4月	24	2	8.3
5月	24	3	12.5
6月	25	7	28.0
7月	25	8	32.0
8月	27	8	29.6
9月	23	5	21.7
10月	26	11	42.3
11月	23	20	87.0
12月	22	14	63.6
1月	23	17	73.9
2月	23	9	39.1
3月	25	15	60.0
合計	290	119	41.0

② 目的別利用状況

催し物の種別	回数	比率(%)
音楽	26	21.8
演劇	4	3.4
舞踊	8	6.7
映画	0	0.0
大会/式典	10	8.4
講演会/講習/研修会	10	8.4
教室等発表会	16	13.4
その他	45	37.8
合 計	119	100.0

③ 入場者数月間稼働率

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
4月	270	1,650	2,200	1,462	1,200
5月	4,950	4,060	2,580	2,950	2,462
6月	3,000	4,830	4,679	3,380	3,576
7月	3,300	4,050	3,910	4,850	1,350
8月	6,870	3,370	2,720	3,350	3,942
9月	2,050	2,150	3,630	3,790	2,110
10月	7,280	9,400	3,790	4,410	5,440
11月	5,750	7,550	9,550	9,610	9,190
12月	4,750	4,940	3,460	3,350	4,100
1月	4,100	3,450	2,370	3,050	2,117
2月	4,390	1,390	4,320	1,690	4,300
3月	4,600	3,427	6,600	5,570	5,750
合計	51,310	50,267	49,809	47,462	45,537